

科目名	臨床医学総論Ⅲ ②			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年 通年
<b>【授業の目的・ねらい】</b> これまで学んできた基礎的な医学的知識を応用しながら、病気の基礎、検査、診断、治療とそれに付随する医療機器を絡め、臨床工学技士の業務に必要な臨床医学的知識の修得を目的とする。							
<b>【実務者経験】</b> 臨床工学技士として福岡市立こども病院等で、新生児や小児の人工心肺業務や呼吸・集中治療室業務に従事経験。							
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 内科、外科全ての分野における疾患と病変に対し、病態生理、症状、診断法、治療法について学習する 前期では循環器疾患と代謝系疾患を中心に、後期では呼吸器、感染症、内分泌、神経系疾患などについて学習する。							
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> ・外科系疾患の原因と病態について概要を説明することができる。 ・各種検査値、疾患と治療方針についての知識を身につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	ウイルス感染症と細菌感染、各種治療薬について概説する						
17	消化器系の基礎と肝臓疾患について理解する						
18	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸疾患の病態生理を整理する						
19	胆嚢、膵臓、脾臓の疾患について概説する						
20	腎臓の基礎と腎不全について						
21	各種腎不全の病態生理と治療について理解する						
22	血液の基礎と血液疾患について						
23	脳血管障害と脳腫瘍の診断と治療について						
24	神経系の基礎を整理し、基本的な異常について理解する						
25	神経筋疾患の病態生理と管理上の注意などについて説明できるようになる						
26	糖尿病と代表的な代謝異常について理解する						
27	内分泌の基礎と各種ホルモンの異常症について理解する						
28	外科的侵襲に対する生体反応と麻酔の影響について理解する						
29	術前管理・術中管理・術後管理を学ぶ						
30	全範囲の過去問題を用いた総復習を各自で行う						
定期筆記試験							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ・臨床工学講座 臨床医学総論 第2版、篠原一彦 ほか、医歯薬出版株式会社 ・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社 ・配布資料							
<b>【準備学習・時間外学習】</b> ・国家試験の過去問題は自主的に取り組んでください ・事前に教科書に目を通して講義に臨んでください ・病名、診断と治療を関連づけて覚える必要があります。十分な復習を行ってください							
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を20点、定期試験を80点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							